

TSURUGIKAI

2025.08.01



Railway Park フェスティバルにて

TOPIC 1

みなさんの声を聴く!!
市民と議員の懇談会2025

TOPIC 2

街角インタビュー
鶴ヶ島ってどんなまち?

TOPIC 3

シン・鶴ヶ島市議会
議会は新しい体制へ

つるがしま市議会だより

令和7年 5月臨時議会
6月議会 報告

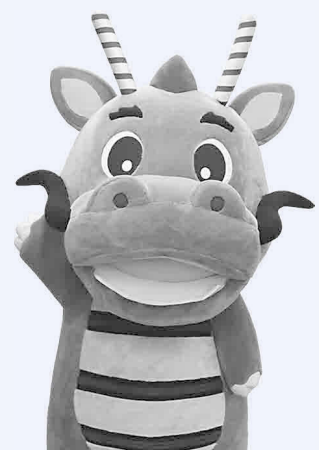


令和7年6月29日(日)に3市民センターで、市民と議員の懇談会「語ろう！鶴ヶ島のまちづくり」を開催し、合計で55人と、多くの方にご参加いただきました。

懇	市
談	民
会	と
2	議
0	員
2	の
5	



当日の、準備、受付、片付け等も議員が行いました！



ホームページもチェック！

各地域に分かれて開催することで、地域が抱える様々な問題を聴くことができました。いただいたご意見・アンケート結果はホームページにも掲載します。今後も、本議会をよろしく願います。



こちらをチェック↑

東 市 民 セ ン タ ー

一緒に考えた、もっと鶴ヶ島

時間が足りない！

市民と議員が語り合うなら車座に、との参加者のご意見から皆さん一緒に会場づくり。話題が山盛りで、話し足りない方やマイクが回らなかった方、もっと時間があればと思うことしきりでした。

市政の全てに意見あります

学校の集金のデジタル化、南市民センター移転後のどんぐり公園について。給食費の無償化や産院の誘致、つるの駅など政策面への指摘。外国人住民、ごみの問題、市長選、男女共同参画、SNSなど幅広い意見をいただきました。



長 谷 川	小 島	今 野	大 野	瀧 嶋	高 橋
清	幸 広	雄 一	洋 子	正 紀	剣 二

北 市 民 セ ン タ ー

優しい時間が流れた2時間

つるワゴンへの期待と不安

つるワゴンが自分の自治会まで来ない、走っていても誰も乗っていない、停留所を増やして欲しいなどのつるワゴンへの意見が多数ありました。現在行われている路線の見直しにつなげていければと思います。

身近で思いやりのある話題がいっぱい

地域のために街路樹の整理を、街路樹が足りないとの相反する意見、子育て支援と共に保育士の処遇の心配、市費教諭の充実、地域の防犯情報の共有の必要性など周りを思いやる話題が沢山出されました。



小 川	山 中	出 雲 敏	小 川	高 篠	杉 田
尋 海	基 充	太 郎	茂	雅 洋	恭 之

大 橋 市 民 セ ン タ ー

ともに考える鶴ヶ島の課題

26人の方が参加！

会場には市外からの方も含めて、26人の方が参加。沢山の意見を聴くために発言時間をひとり1分としました。時間内に意見を述べられるように原稿にまとめて発言された方もいました。

多岐にわたるご意見

小学校体育館のエアコン設置要望、つるワゴンの利用者が増え乗り切れない現状の訴え、市内の緑の減少を危惧する声や高齢者の防犯の必要性などの意見をいただきました。



福 島	小 林 ひ と み	内 野 嘉 広	太 田 忠 芳	大 曾 根 英 明	村 上 信 吉
恵 美					

16人が実施



一般質問



一般質問とは、議員が市の一般事務について執行機関に対し説明や報告を求めるものです。6月議会は、3日間にわたって熱い議論が繰り広げられました。ここでは、その概要をお知らせします。その他の質問もありますので、気になる議員を見つけたら、二次元コードから、当日の様子をチェック！

福祉・健康

人と人のつながり	太田 忠芳	p4
こども・若者政策	今野 雄一	p5
民生委員の担い手確保	小林ひとみ	p5
ギャンブル依存症	山中 基充	p5
デジタル化の高齢者対応	瀧嶋 正紀	p6
高齢者支援	大曾根英明	p6

教育・文化

就学援助制度	小島 幸広	p6
最高の教育環境	小川 尋海	p7
I C T教育	出雲敏太郎	p7

市民生活

多様な隣人と共に生きる	福島 恵美	p7
防災減災対策	高篠 雅洋	p8

産業・環境

農業振興	長谷川 清	p8
------	-------	----

都市整備

市内公共交通	村上 信吉	p8
グリーンインフラ	大野 洋子	p9

市政運営

複合施設	小川 茂	p9
齊藤市政2期目の総括	高橋 剣二	p9

福祉・健康

人と人のつながりを行政の中心に据えて



つながりを大切に

民生委員や生活支援員による個別訪問を実施し、6年度には、要介護認定などを受けていない75歳以上の高齢者を対象に「高齢者実態把握調査」を行った。調査結果をもとに、要介護のリスクの高い方などへの訪問や相談支援を行っている。また、地域ぐるみの見守りとして、見守りネットワークの取組の推進や、住民主体の見守りとして、市社会福祉協議会が活動を展開している。

問 高齢者の孤立・身寄り問題は。令和4年度の調査により、約5人に1人の高齢者が日常的に人との会話がほとんどない生活を送っていることが明らかとなった。孤立や身寄りの問題は懸念されるところであり、社会全体で取り組むべき課題であると認識している。



おおた ただよし
議員 太田 忠芳





こども・若者の声を聴く！

問 こども・若者の意見を反映させる仕組みとして、ユースカウンスルや若者協議会などの設置は。

答 ユースカウンスル、若者協議会などの設置は、こども・若者が継続的にこども施策への理解を深め、同施策の策定や実施、評価ができるなどのメリットがある。一方で、継続的に会議に参加する必要や一部の対象者のみの参加となるデメリットも考えられる。会議体の設置や運営方法等に係る検討事項や調整事項も多くあり、早期の設置・運営は難しいと考えている。

今後、ユースカウンスル、若者協議会などの設置は、引き続き先進地の状況の調査研究を進め、関係課と情報共有を図りながら検討していく。



このの
今野 雄一
議員



地域の身近な相談相手

問 業務内容について。

答 民生委員法に定められている民生委員の職務は、住民の生活状態の把握、相談に応じた助言、福祉サービスの情報提供、福祉事業者との連携、行政機関との協力の5つである。これらを訪問活動、情報提供、連絡、地域活動の4つの柱に整理し、活動のお願いと周知を行っている。

問 業務の負担軽減のためにICTの導入を。

答 業務の負担軽減や、働きながら活動しやすい環境づくりとして検討すべき課題のひとつであると考えている。

しかし、機器や情報の管理や更新、不得手とする委員への対応等の課題があり、他自治体の事例を研究しつつ、現委員の意見を踏まえ、積極的な活用を検討していく。



こばやし
小林ひとみ
議員



やめられない病と闘う

問 ギャンブル依存症について市の考えは。

答 ギャンブル等依存症は、ギャンブル等依存症対策基本法で、ギャンブル等へのめり込むことにより日常生活又は社会生活に支障が生じている状態と定義されている。

また厚生労働省では、本人の心が弱いことから依存症になるのではなく、ギャンブル等で脳がドーパミンという快楽物質を得るが、その行動を繰り返すうちにその刺激に慣れてしまい、より強い刺激を求めて、行動がコントロールできなくなってしまう病気であるとしている。

当事者を早めに治療や支援につなげていくことが依存症を予防し、回復につながる大事な一歩であるとされており、市でも同様の認識を持っている。



やまなか
山中 基充
議員





スマホよろず相談の様子

問 デジタル情報格差の解消に向けた周知・啓発活動の取組の成果は。

答 情報格差の解消を図るため、令和3年度から高齢者のためのスマホ教室を開催してきた。スマートフォンをお持ちでない方には、貸出機の用意もしている。また、5年度には、受講者からの要望により、基礎から応用まで段階的に学べる体制を整えた。

6年度には同教室を全市民センターで12回開催し、160人が参加した。また、4年8月からは個別相談ができる支援体制も整備した。更に、5年度には、デジタル支援員を養成し、市民センターや市役所などに配置した。今後も様々な機会を捉え、事業の周知啓発を図り、高齢者が安心してデジタルを活用できる環境づくりを進める。

たきしま まさのり
瀧嶋 正紀
議員

高齢者支援の仕組みづくりを！

問 持続可能な権利擁護支援モデル事業の活用について。

答 国が実施している事業は、高齢者など、支援が必要な人に対する持続可能な権利擁護支援の仕組みづくりを検討するものである。

成年後見制度の利用促進と権利擁護支援の充実を目的として、社会福祉協議会に中核機関の業務を委託し、相談対応や市民後見人の養成などの支援体制の強化に取り組んでいる。

7年度からは、社会福祉協議会が日本財団の助成を受け、本人の意思決定を支える意思決定フォローの養成など、より実践的な支援体制の構築に取り組む予定である。国の動向や成果を注視しつつ、関係機関と連携しながら、今後の支援の在り方の検討を進めていく。

おおそね ひであき
大曽根 英明
議員

就学援助制度窓口（学校教育課）

問 制度の普及について。

答 就学援助は、保護者の申請により世帯の所得状況を把握し、それを基に認定、支給をしている。必要とする人が利用できるよう、様々な機会を通じて周知を図っている。

ホームページと広報紙への掲載や就学時健康診断や入学説明会の際にチラシの配布をしている。在校生の保護者には、1月を目的に、学校を通してチラシの配布などを行っている。また、受給者には翌年度の申請をお知らせする通知を郵送している。

問 更なる拡充について。

答 援助項目や金額は、国の補助金交付要綱に基づく予算単価等一覧を参考に定めている。子育て家庭への支援として、引き続き関係課と連携を図っていく。

こじま ゆきひろ
小島 幸広
議員

教育・文化

最高の教育環境を鶴ヶ島で実現するには



一人一人に合わせた学習を

問 本市で行われているアダプティブラーニングの事例は。

答 中央教育審議会は、令和の日本型学校教育の構築に向け、個別最適な学びと協働的な学びの充実を目指すとしている。

市ではアダプティブラーニングを学習履歴やデータを活用し、より効率的に学ぶ方法も含むものと捉えている。

小・中学校では、AI型デジタルドリルを導入しており、児童・生徒の理解度にに応じて問題が調整され、正解すれば発展的な問題へ、誤答すれば基礎に戻る。得意分野は進め、苦手分野はじっくり取り組むことで、自分のペースで学習できる。理解が不十分のまま進むことを防ぎ、学習意欲の維持と基礎定着につながるかと考えている。



おがわ ひろあき
小川 尋海
議員



教育・文化

ICT教育の更なる推進を



学習用端末

問 ICT教育の成果は。

答 令和2年度末までに全小・中学校に高速Wi-Fiを整備し、学習用端末を配備した。これによりAI型デジタルドリルに取り組めるなど、興味・関心の高さ、理解度に応じた学びが可能となった。

また、学級全員との意見の比較・検討が可能となり、深い理解につながっている。ほかにも、教室以外からの学習参加や学習用デジタル教科書の使用により、より良い教育環境が整ってきている。

問 今後の方向性は。

答 学習用端末を活用した学びが日常の学習に浸透し、欠かせないツールとなっている。今後もICTを活用した主体的・対話的で深い学びの実現に向けた取組を推進する。



いずも びんたろう
出雲敏太郎
議員



市民生活

多様な隣人と共に生きる鶴ヶ島へ

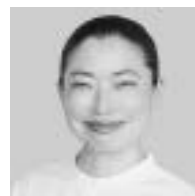


多様な隣人と共に生きる

問 ヘイトスピーチに関する認識と対応は。

答 ヘイトスピーチとは、特定の国の出身者やその子孫であることを理由に、日本社会から追い出そうとしたり危害を加えようとしたりするなどの一方的な内容の言動のことである。

社会的関心の高まりを受け、本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律が平成28年6月3日に施行された。同法には、地方公共団体の責務として、地域の実情に応じ、相談体制の整備、教育の充実、啓発活動といった基本的施策を講ずるよう努めるものと規定されている。市では、ヘイトスピーチは決して許されるものではないとの認識の下、人権相談の実施などの取組を行っている。



ふくしま めぐみ
福島 恵美
議員





避難所開設・運営訓練の様子

問 公共施設（避難所）の整備状況と市民への避難場所の周知は。

答 災害発生直後に市民がその危険から逃れるための緊急避難場所として、学校や市民センター、近隣公園などの25か所を指定している。このうち、学校や市民センターなどの22か所は自宅が被災し、在宅生活が困難な方のための避難所である。避難所は災害の種類に応じて用途を分けており、地震災害の場合は、小・中学校を一般避難所、市民センターなどを福祉避難所としている。一方、風水害では、市民センターなどを自主避難所として必要に応じて準備している。

避難所の周知は、防災ハザードマップ、ホームページ、広報つるがしま、まちづくり市民講座、施設での表示などにより行っている。



たかしの
高篠 雅洋
議員



持続可能な地域農業の実現に向けて

問 本市の農業の現状は。

答 都市近郊型農業の展開で地産地消が進む一方、高齢化や後継者不足、遊休農地等の増加が課題である。支援策は講じているが、根本的な解決には至っていない。

問 今後の本市の農業の方向性は。

答 今後は、新たな手法による農地の有効活用と担い手の継続支援を両輪とした施策を展開し、持続可能な地域農業の実現を目指していく。

問 本市の農業における打つべく改善・解決策は。

答 遊休農地等の解消に向けた取組を進める。また、担い手の確保・育成などに努めるほか、農産物の生産力向上に向けた支援、地産地消などの販路拡大に取り組む。



はせがわ
長谷川 清
議員



つるバス

問 市内公共交通の再編計画と中長期的ビジョンは。

答 つるバス・つるワゴンには、市民に定着し、利用者数も着実に増加している。そのため、現段階では運行体系を根幹から見直すような再編は考えていない。

一方、今後控える公共施設の再編や道路環境の変化に対応するため、今年度からルート・ダイヤの見直し業務に着手している。

中長期的ビジョンは、都市の骨格構造を支える公共交通軸を設定し、交通ネットワークを維持充実させることで、交流人口の増加や定住促進などに寄与する。利用状況、道路環境の変化などに対応しながら、公共交通の利便性向上を図るとともに、誰もが健康で快適に生活できるまちづくりに努める。



むらかみ
村上 信吉
議員



都市整備

市民参加型のグリーンインフラ推進を



貯水機能を持つ「雨庭」

問 身近な場所で実践しやすいグリーンインフラの一つである雨庭の公共空間への整備は、
答 雨庭は、都市型洪水の軽減に一定の効果があると考えられている。
市内では、坂戸、鶴ヶ島下水道組合が整備を進める雨水幹線をはじめ、道路側溝や水路で、雨水排水を面的にコントロールしている。また、公共空間は、規模に応じて調整池を整備するなど、想定される降雨量に対応可能な雨水排水対策を講じている。
さらに、民間の開発事業は面積と地域に応じた指導により、雨水の流出抑制に努めている。
以上のとおり、雨水排水の適切な管理に取り組んでおり、これに加えて公共空間に雨庭を整備する予定はない。



おおの ひろこ
大野 洋子
議員



市政運営

複合施設に期待される効果について



複合施設開設に向けて！

問 複合施設（旧西中学校）に期待される効果について。
答 複合施設（旧西中学校）は、市民の多様な意見を踏まえた複合施設（旧西中学校）基本構想に基づき整備していく。
地域イベントや子育て世代の憩いの場など市民ニーズに応じた機能を整備していく。また、老人福祉センターや障害者生活介護施設、海洋センターの体育館機能など、既存施設の移転集約で利便性と多様性を高める。また、旧校舎の3階や体育館、グラウンドなどで地域住民の様々な活動ができるよう計画もしている。
更に、飲食可能な場を設けることで多世代交流を促進し、地域のつながり強化や孤立防止などの効果が期待できる。



おがわ しげる
小川 茂
議員



市政運営

齊藤市政2期目の総括について



市役所庁舎

問 8年の市政を振り返り、本市の現状とこれからをどのように捉えているか。
答 本格的な人口減少や少子高齢化に直面し、地域コミュニティの希薄化や社会保障費の増大など、様々な課題がある。また、デジタル化や価値観の変化など、社会の転換期でもあり、この状況に柔軟に対応するため、従来の枠組みにとらわれず、まちの構造転換を図ることが行政の責務であり、人と人、人と地域のつながりを大切にした市政運営が重要である。これまでの市民との信頼関係を礎に、新しい時代の力を取り入れながら、安定した市政運営を進めていく。しあわせ共感 安心のまち つるがしまの実現に向け、多くの市民が本市に住んでよかったと実感し、これからも住み続けたいと思える鶴ヶ島を築いていく。



たかはし けんじ
高橋 剣二
議員



鶴ヶ島ってどんなまち？

6月8日に開催されたRailway Parkフェスティバルにて
インタビューを行いました。

- ・比較的に大きな災害が少ない
- ・バス（ワゴン）が便利
- ・可能性のある街 ✨
- ・住みやすい



議員コメント

市民と議員の懇談会のお知らせを配りながらインタビュー、議場からまちに出て初のチャレンジでした。数々の率直な声はどれも大切なヒント、今後の議会活動に生かしていきたいと思います。

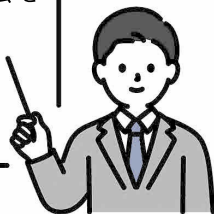
ご協力いただきました皆様ありがとうございました。

Q 鶴ヶ島の ちょっと残念なところ

- ・大きな音楽ホールなどの公共施設がない
- ・産婦人科がない
- ・知名度がない



令和7年第1回臨時会を
5月13日(火)に開催し、
市長提出議案4件を
審議しました。



5月臨時会

令和7年第1回鶴ヶ島市議会臨時会審議結果

○…賛成 ×…反対・賛成せず

[illegible]

令和7年第2回定例会の日程（会期21日間）

5/30	本会議	開会 議案第36号～第40号を上程
6/3	本会議	議案第37号及び第40号を採決 議案第36号、第38号及び第39号を委員会付託
9	総務産業建設常任委員会 予算決算常任委員会	付託議案審査
13・16・17	本会議	一般質問
19	本会議	議案第36号、第38号及び第39号を採決 議案第41号～第43号を上程及び採決 閉会

委員会審査

常任委員会では、付託議案について様々な質疑などが行われています。

詳細については、二次元コードから録画中継をご覧ください。 →



6月定例会



令和7年第2回定例会が5月30日（金）から6月19日（木）までの21日間の会期で開催しました。

本定例会では、市長提出議案8件を審議しました。

また、一般質問を3日間にわたり行い、16人の議員が登壇しました。

令和7年第2回鶴ヶ島市議会定例会審議結果

○…賛成 ×…反対・賛成せず

議案番号	議案の名称	議員名等	審議結果	議員の賛否														賛成	賛成せず
				新政クラブ	公明党	すだち	日本共産党	小川	出雲	福島	村上	内野	長谷川	賛成	賛成せず	賛成	賛成せず		
議案第36号	鶴ヶ島市税条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	鶴ヶ島市都市計画税条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	鶴ヶ島市の環境を保全する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	令和7年度鶴ヶ島市一般会計補正予算（第2号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	工事請負契約の締結について （長久保小学校校舎屋上防水等改修工事）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	鶴ヶ島市議会議員及び鶴ヶ島市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	令和7年度鶴ヶ島市一般会計補正予算（第3号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

次回定例会のお知らせ

次回の令和7年第3回定例会は、9月1日（月）に開会予定です。

議会の日程は、開会日の5～2日前に決定し、市のホームページなどでご案内します。

ホームページは、こちらから →



春の交通事故防止運動街頭指導に参加！



令和7年4月5日に、交通事故の防止を図ることを目的に、街頭指導が実施されました。

鶴ヶ島市議会交通安全推進議員連盟として参加し、啓発品の配布などを行いました。

シン・鶴ヶ島市議会



議長 内野 嘉広 副議長 小林ひとみ

議長・副議長就任の挨拶

私ども両名は、令和7年5月の臨時会におきまして、議長及び副議長に就任いたしました。私たち議員は、市民の皆様から、よりよいまちにしていけることを付託されております。その同じ目的に向かって協調しあい、議会活動が進められるように取り組んでまいります。これからも、市民の皆様には議会に関心をお寄せいただき、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

総務産業建設常任委員会

文教厚生常任委員会

議会運営委員会

(右から)
出雲委員
高橋委員
小川茂委員
長谷川委員
今野委員
太田副委員長
山中委員
大曾根委員
内野委員

(右から)
瀧嶋委員長
小島副委員長
杉田委員
大野委員
高篠委員
村上委員
福島委員
小林委員
小川尋海委員

(右から)
小林委員
杉田委員
今野委員
瀧嶋副委員長
山中委員
太田委員
高篠委員
大曾根委員

監査委員

杉田恭之議員

図書委員会

小島委員長
大野副委員長
今野委員
瀧嶋委員

予算決算常任委員会

高篠委員長
大曾根副委員長
委員は、委員長及び副委員長以外の全議員

発行 鶴ヶ島市議会

発行責任者 内野嘉広(議長)

編集 広報広聴委員会

(委員長) 大野洋子

(副委員長) 太田忠芳

(委員) 小川尋海 今野雄一 小林ひとみ

山中基充 瀧嶋正紀 大曾根英明

新体制!

編集後記

5月の臨時会より、議会が新しい体制になりました。広報広聴委員会も、初めて委員となったメンバーが加入し、新たな風が吹き始めました。初チャレンジの街角インタビュー、委員会ごとに工夫をこらした紹介写真はいかがでしたか？是非ご講評をお寄せいただければと思います。

これまで以上に、議場からまちへと足を運んで、皆さんの声を聴きながら身近な議会だよりを作っていきます。

(大野)